

授業科目

病院前医学概論

担当教員名 竹井 豊	対象学年	1	対象学科	救急
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	○	

授業の概要

救急救命の活動は、病院前という特殊な環境下で展開され、隊として活動する人員・資格、可能となる行為にも制限があり、活動内容にも医療以外に関する事柄が多く存在する。そのため、単に医療に関する事象を理解するだけでは救急救命士としての本来目的を達成する事が困難となる。

本科目では、救急救命士の使命・責任・業務、医療従事者としての自覚・倫理など救急救命士の業務遂行に必要なさまざまな事柄を理解するため、関連医療体制、関係法令について学習する。

授業の目的

救急救命士の使命・責任・業務、医療従事者としての自覚・倫理など救急救命士の業務遂行に必要なさまざまな事柄を理解するため、関連医療体制、関係法令について理解する。

学習目標

1. 救急業務遂行に必要な医療体制の知識を修得する。
2. 救急業務遂行に必要な関係法規の知識を修得する。
3. 救急活動遂行に必要な処置と資器材の知識を修得する。
4. 救急医療体制の知識を修得する。
5. 救急活動遂行に必要な安全管理とリーダーシップの知識を修得する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	救急の歴史	講義	竹井 豊
2	救急業務の沿革と意義（救急業務の法制化と展開）	講義	竹井 豊
3	救急業務の運用体制（救急業務実施基準、消防力の整備指針）	講義	竹井 豊
4	救急業務の関連法規1（医療法、医師法、保健師助産師看護師法、その他関係法）	講義	竹井 豊
5	救急業務の関連法規2（救急救命士法、救急救命士法施行規則）	講義	竹井 豊
6	応急処置の定義と目的	講義	竹井 豊
7	救急救命処置と資器材	講義	竹井 豊
8	救急医療体制と救急医療機関	講義	竹井 豊
9	メディカルコントロール	講義	竹井 豊
10	ヘリコプターによる救急医療	講義	竹井 豊
11	ヘリコプターによる救急医療	講義	竹井 豊
12	安全管理	講義	竹井 豊
13	リーダーシップ	講義	竹井 豊
14	事案検討	講義	竹井 豊
15	病院前医学概論まとめ	講義	竹井 豊

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	改訂第9版 救急救命士標準テキスト 上巻	救急救命士標準テキスト編集委員会	へるす出版	2015年	9,800円＋税	1年次購入済
	改訂第9版 救急救命士標準テキスト 下巻	救急救命士標準テキスト編集委員会	へるす出版	2015年	9,800円＋税	1年次購入済
参考書						

評価方法

試験（70%） およびレポート提出（30%）

履修上の留意点

以下に挙げる場合は、科目試験の判定を放棄したものとみなす。

1. 1～14回のうち5回以上の欠席がある場合。
2. 指定した提出物が期限（別途提示）までに提出されていない場合。
3. 授業態度不良と判断された場合。

オフィスアワー・連絡先

授業開始時に担当教員より連絡する。